



神奈川東ロータリークラブ

KANAGAWA EAST ROTARY CLUB

DISTRICT 2590/CHARTERED MAY 29-1976/WEEKLY BULLETIN

2012-2013年度 R.I.会長 田中 作次



第2590地区 ガバナー

露木 雄二

- 会長 飯田泰之
- 会長エレクト 伊東英紀
- 副会長 山田正憲
- 副会長 吉田隆男
- 幹事 西山潔
- 副幹事 山本芳弘
- 会計 朝日達夫
- 副会計 金森欣一
- S A A 横溝亘
- 副S A A 矢野修二
- 副S A A 河野明光
- クラブ会報 森永健

●クラブテーマ「調和・Balance」●



写真提供 小池將夫会員

事務局 ホテルキャメロットジャパン内 〒220-0004 横浜市西区北幸1-11-3
TEL: 045-314-3900 FAX: 045-314-3555
例会日 毎週金曜日 0:30 ~ 1:30 PM (第5金曜日 6:00 PM)
例会場 ホテルキャメロットジャパン **創立記念日** 昭和51年5月29日
URL <http://www.kanagawahigashi.com/>
E-mail kerc@beach.ocn.ne.jp

2012-2013年度 第32週報 No. 1779 2013年(平成25年)3月8日 第1779回例会記録 3月15日発行

司会 西山 潔 幹事

結婚記念日祝 山本 登 会員(3月13日)

点鐘 飯田 泰之 会長



齊唱 「我等の生業」

四つのテスト 長井 章 職業奉仕委員長
(第1例会のみ)

ゲスト紹介 須藤 徹 様 (ゲストスピーカー)

誕生日祝 大橋 秀行 会員(3月8日)

本日〈3月15日〉のプログラム

- ◆ 齊唱 「それでこそロータリー」
 - ◆ 献立 銀むつのムニエル
 - ◆ 卓話 「ヒットを生む会社の宝物
～奇跡の玉子、幸せの玉子～」
- 日本経済新聞社 横浜支局 支局長 中畑 孝雄 様
(紹介者 矢野 修二 会員)

会長報告

飯田 泰之 会長

・IMの報告 参加人数 26名

幹事報告

西山 潔 幹事

・本日、3月度定期理事会を開催致します。 場所 3F ナイト

出席報告

竹山 洋 出席委員長

会員総数	54名	(37+17)名	
出席会員数	40名	(28+12)名	
出席率	81.63%		
ゲスト	1名	ビジター	0名
前回補正後	90.00%	前々回補正後	88.46%

スマイルボックス

矢野 修二 副S A A

山本 登君 結婚祝い、ありがとうございます。

飯田泰之君 ①ゲストスピーカーの須藤徹様、本日の卓話、よろしくお願いします。②昨日のIM参加の皆様、ご苦労様でした。

石川正三君 加藤さん、江森さん、昨日はご苦労様でした。

月山 勇君 ①昨日のIM出席の皆様、お疲れ様でした。青柳さん、横山さん、山田（富）さん、お世話様でした。②山本先生、何かとお手配ありがとうございました。

小池將夫君 暖かくなりました。ヒートテックシャツを着ていたらオーバーヒートしました。

西山 潔君 ①昨日のIM出席の皆様、お疲れ様でした。②須藤徹様、本日の卓話、よろしくお願いします。

江森国一君 加藤さん、昨日のIMでの発表、ご苦労様でした。我クラブの支援活動が素晴らしいと改めて実感しました。

伊澤政宏君 昨日のIMに参加の皆様、ご苦労様でした。矢野様、白鳥様、遅くまでありがとうございました。

山田正憲君 ①昨日のIMに参加の皆様、お疲れ様でした。②須藤様、本日の卓話、よろしくお願いします。

茂木知子さん ~チャック問題Part. 3『気持ちを大切に』~青柳会員は、昔、チャック全開を女性に注意されトラウマになってしまったそうです。だから教えないで欲しいと思っています。しかし、10年に1度ぐらいだったチャック全開が、最近は1ヶ月に1回はあるそうです。例会にもチャック全開で出席してしまう可能性があります。そんな時は本人の気持ちを大切にして教えないであげて下さい。

友添辰哉君 冒険家の赤堀さん、先週の結婚祝いを飾って閑内で飲んでいましたね。今日は18時に新橋の汽車ポッポに乗って待っています。

白鳥厚夫君 昨日のIMで、二日酔いになりました。

小山市康君 須藤徹様、お待ちしておりました。本日は、俳句をじっくりと味わっていきたいです。よろしくお願いします。

矢野修二君 ①昨日のIMに出席の皆様、ご苦労様でした。②伊澤さん、白鳥さん、楽しい時間をありがとうございました。

3月8日	14件	29,000円
本年度累計		1,521,000円

卓 話**「日本の地震と俳句」**

俳人・文芸評論家 須藤 徹 様

(紹介者 小山 市康 会員)



2011年3月11日、「東日本大震災」が起こり、あと数日で2年目を迎えます。復興のペースは遅く、いまだ仮設住宅に住む人が、約11万人、アパートなどの民間賃貸の「みななし仮設」住宅に住む人は、約30万人にのぼります。今日は、俳人のはしづれとして、「日本の地震と俳句」というテーマで少しお話したいと思います。

俳句では、地震のことを「なみ」といいますが、これは、『日本書紀』の武烈天皇（489-507）の項の歌謡に、「地震」（なみ又はなえ）が出てくるのです。この地震は、鴨長明の『方丈記』には、「元暦の地震」（1185年8月6日）として、明記されています。

夕顔や方丈記にも地震のこと

阿波野青畝

高浜虚子の高弟で、阿波野青畝（あわの・せいほ/1899-1992）という俳人がいますが、この人にこういう作品があります。阿波野青畝は、山口誓子、高野素十、水原秋桜子とともに、昭和初期に頭の頭文字をとって、「ホトトギスの4S」と呼ばれた俳人です。

おろし置笈（おひ）に地震（なえふる）なつ野かな 与謝 蕪村

「笈（おひ）」というのは、修験者などが仏具・衣服・食器などを収めて背に負う箱のことです。旅の途中なのでしょう、そっと下ろした「笈」を見ると、それが揺れていることに、「笈」を担いでいる人自身が気が付いたのです。「あつ、地震だ！」見れば、まわりの「なつ野」も揺れているようだ。一瞬クローズアップされた「笈」からカメラは「なつ野」に転じます。「なつ野」の近景・中景・遠景と、地震はだんだん揺れが激しくなってくるのでしょうか。

大なへ（み）にびくともせぬや松の花

小林 一茶

文政4年刊の『八番日記』に出てくる、一茶の俳句です。松の花は、春の季語です。東日本大震災の大津波に耐えて、約7万本の松の中でたった1本生き残って、被災者を励まし続けてきた、岩手県陸前高田市の「奇跡の一本松」を彷彿とさせる句ですね。この句は、茨城県鹿嶼市の鹿島神宮の中に、句碑として存在します。

若葉して海神怒る何事ぞ

正岡 子規

明治29年6月15日（陰暦端午の節句）、三陸地方を中心に、大地震が発生しました。「明治三陸地震」と呼ばれるものです。地震に伴って、本州における当時の観測史上最高の（遡上高）である海拔38.2mを記録する大津波が発生しました。2万人を超す犠牲者が出来ました。この地震のことを、子規は、「日本」という新聞に、「海嘯」という俳句入りの隨筆を、6月29日に掲載しました。「黒山の如き大波は毒舌を出だして沿岸のもの家とも言はず木とも言はず人とも言はず忽ちに舐め去りぬ。噫惨又惨。叫喚の聲耳に聞えて全身覺えず戰慄す。」と書いております。

さて、ご承知のように、3.11の際、飯舘村の全域が、現在、全村避難地域です。その村長さんが、こんなメッセージを出したそうです。「日本社会は、少しアクセルを踏み過ぎてスピードが速すぎた。アクセルを少し緩め、スピードをダウンする必要がありそうだ。走っている人は歩く。歩いている人は立ち止まる。立ち止まっている人はしゃがんでみる。そうすると、足元の花の美しさが見えてくる。」

ドイツの有名な哲学者ハイデガーは、芭蕉の「よく見れば薺花咲く垣根かな」を、訪ねた日本人の哲学者に激賞した、というエピソードがあります。まさに村長さんのいう足元の花の美しさ」をみたのです。俳句は、人々にきっと生きる意味を教えてくれ、勇気をあたえてくれるものと思います。

国際ロータリー2590地区 第4・第5グループ INTERCITY MEETING

【開催日】 2013年3月7日（木）

【会 場】 鶴見区民文化センター・サルビアホール



東日本大震災被災地に対する支援活動についての報告



加藤仁昭会員・江森国一会員



懇親会にて



ロータリーニュース

ブルームバーグ氏がポリオ撲滅活動に1億ドルを寄付

現ニューヨーク市長であるマイケル・ブルームバーグ氏が、ポリオ撲滅活動を支援するために、Bloomberg Philanthropies（ブルームバーグ慈善財団）を通じて1億ドル（約93億円）の寄付を行いました。寄付金は、今後6年間にわたって世界ポリオ撲滅推進計画（GPEI）を支えるために使用されます。

「ポリオ撲滅のための世界的活動は、現在、大きな岐路に立たされている」と話すブルームバーグ氏。「ポリオのない世界を達成するには、即座に行動し、今すぐ必要なリソースを提供しなければなりません」

国際ロータリーは、世界保健機関（WHO）、ユニセフ、米国疾病対策センター、ビル・アンド・メリンダ・ゲイツ財団とともに、GPEI の主要パートナーとしてポリオ撲滅活動に取り組んでいます。

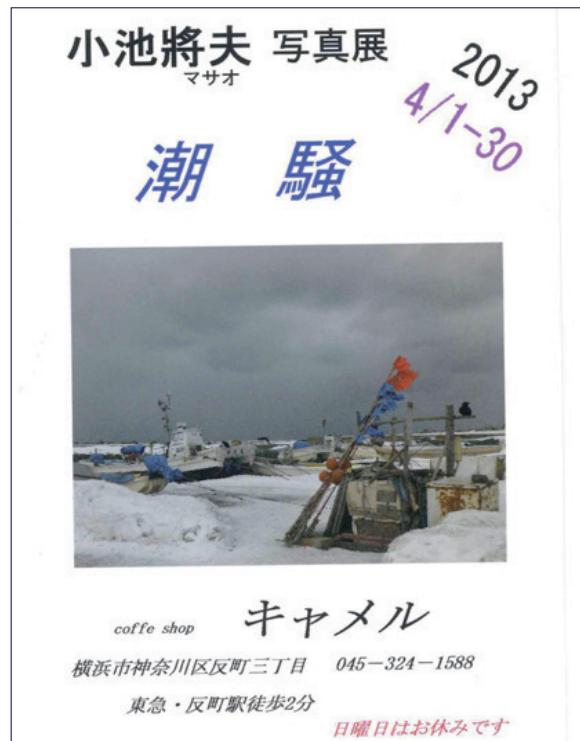
「世界ポリオ撲滅推進計画を支える1億ドルの寛大なご寄付を寄せてくださったブルームバーグ氏とその慈善財団に、国際ロータリーとロータリアンを代表して御礼申し上げます」と述べるのは、国際ロータリー・ポリオ・プラス委員長のロバート S. スコット氏です。

「今回の寄付により、感染リスクの高い地域の子どもにワクチンを提供できるだけでなく、ポリオ撲滅という歴史的な活動に向けて、個人や民間企業・財団からの支援を募るために強くアピールすることができます」

クラブ会員の広場

4月1日～30日まで、小池将夫会員の写真展が反町の『coffee shop キャメル』にて開催されます。

お近くにいらっしゃる際は、是非、お立ち寄り下さい。



ロータリー・ニュース



次回《3月22日》の予定

マレーシア ルーベンR.C来日歓迎会、及び夜間例会

例会 4 回

2月度出席報告